膠原病・リウマチ内科
Clinical Immunology and Rheumatology

外来受付
1 階 01 番　TEL (06)6645-3301
午前 9 時～午後 3 時 30 分
[初診 月～金 午前 9 時～午前 10 時]

詳細はこちら

診療科部長、教授
はしもと　もとむ
橋本　求



専門
膠原病・リウマチ性疾患

スタッフ

准教授　やまだ　しんすけ　**山田　真介**
【専門】膠原病・リウマチ性疾患

講師　わたなべ　りゅう　**渡部　龍**
【専門】膠原病・リウマチ性疾患

講師　ふくもと　かずお　**福本　一夫**
【専門】膠原病・リウマチ性疾患

病院講師　かつしま　まさお　**勝島　將夫**
【専門】膠原病・リウマチ性疾患

病院講師　ふじた　ゆうや　**藤田　雄也**
【専門】膠原病・リウマチ性疾患

診療科の特徴

膠原病・リウマチ性疾患の症状は全身多岐に渡るため、様々な診療科が集う大学病院の特性を生かし、他の専門科と相談しながら、多角的な診察の上での診断・治療を行うよう心掛けています。一方で、これら疾患では人生を通じたフォローを必要とすることが多いため、地域医療を担う先生方との連携が不可欠であると考えています。可能な限りすべての患者さんにかかりつけ医をお持ちいただき、先生方との病病・病診連携を十分に図ることで、それぞれの長所を生かした安心感のある医療を提供できるよう努めていきたいと考えています。

近年の膠原病･リウマチ性疾患における治療技術の進歩は目覚ましく、様々な分子標的薬や免疫抑制薬・免疫調整薬に開発より、かつては難治性であった多くのケースでも寛解を目指せる時代になってきました。一方で、薬剤を選択する際の診断的根拠については依然未解明な部分が多く、また最新治療に対しても抵抗性を示す症例も少なからず存在しています。そこで、当科では患者さんの診療結果をデータベース化することで、その解析結果から得られるエビデンスをもとに、それぞれの症例に最も適した治療法を選択するよう、十分に検討しながら治療をすすめるようにしています。

対象疾患

[主力疾患]
・関節リウマチ　・全身性エリテマトーデス　・多発性筋炎
・皮膚筋炎　・全身性強皮症　・シェーグレン症候群
・混合性結合組織病　・血管炎症候群　・IgG4 関連疾患
・成人発症スティル病　・ベーチェット病　・再発性多発軟骨炎、
・リウマチ性多発筋痛症　・RS3PE 症候群　・脊椎関節炎

[対応できる疾患]
・家族性地中海熱　・VEXAS 症候群　・A20 ハプロ不全症
・PFAPA 症候群

主な診療実績

（1）外来患者数
延べ 10090 例 (うち初診 808 例)

（2）入院患者数：309 例

血管炎症候群	60 名
関節リウマチ	50 名
全身性エリテマトーデス	25 名
全身性強皮症	19 名
多発性筋炎・皮膚筋炎	16 名
IgG4 関連疾患	12 名
シェーグレン病	12 名
成人発症スチル病	7 名など

ご紹介時のお願い

初診予約は診療情報提供書 (診察予約申込書) に必要事項をご記入の上、地域医療連絡室へ FAX にてお申込みください。